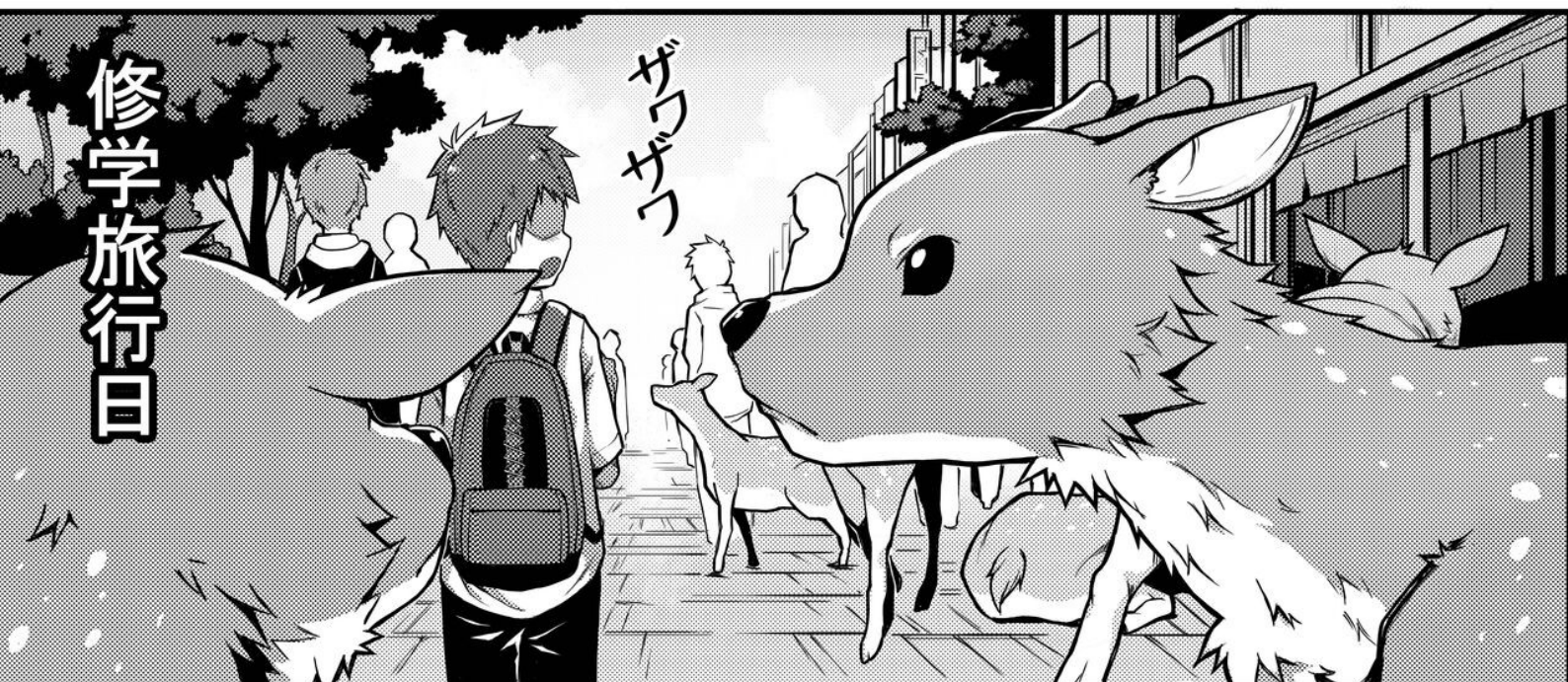
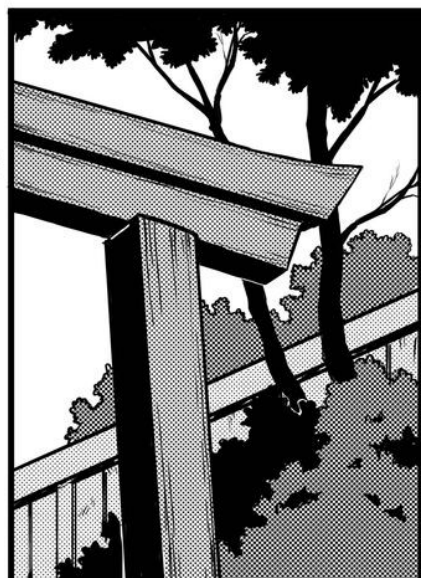


R-18

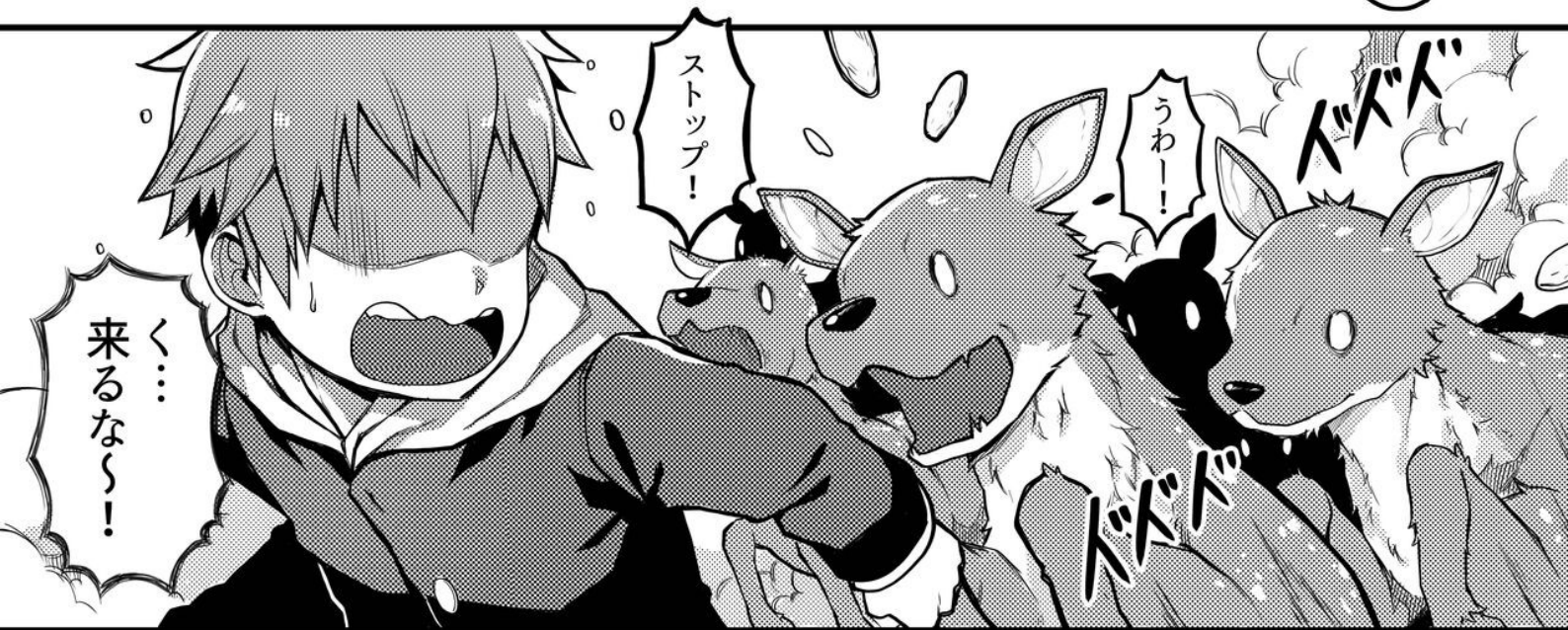


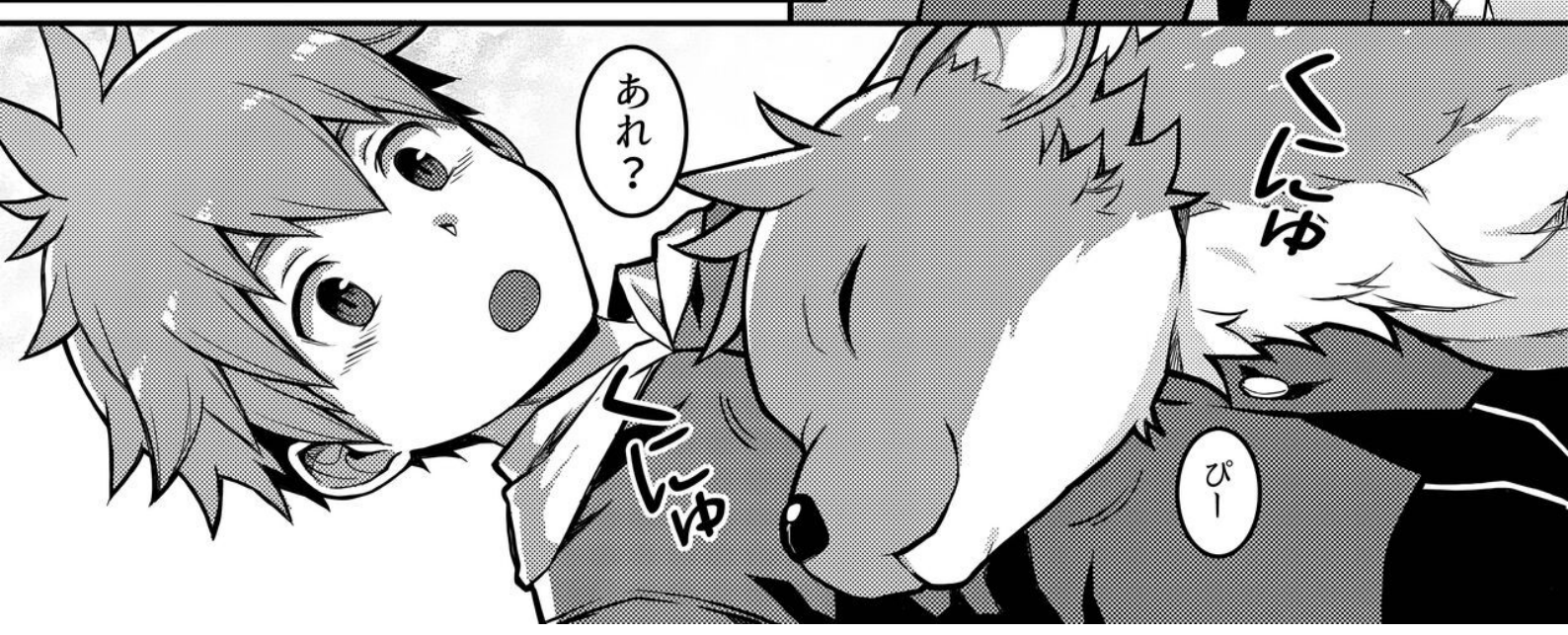
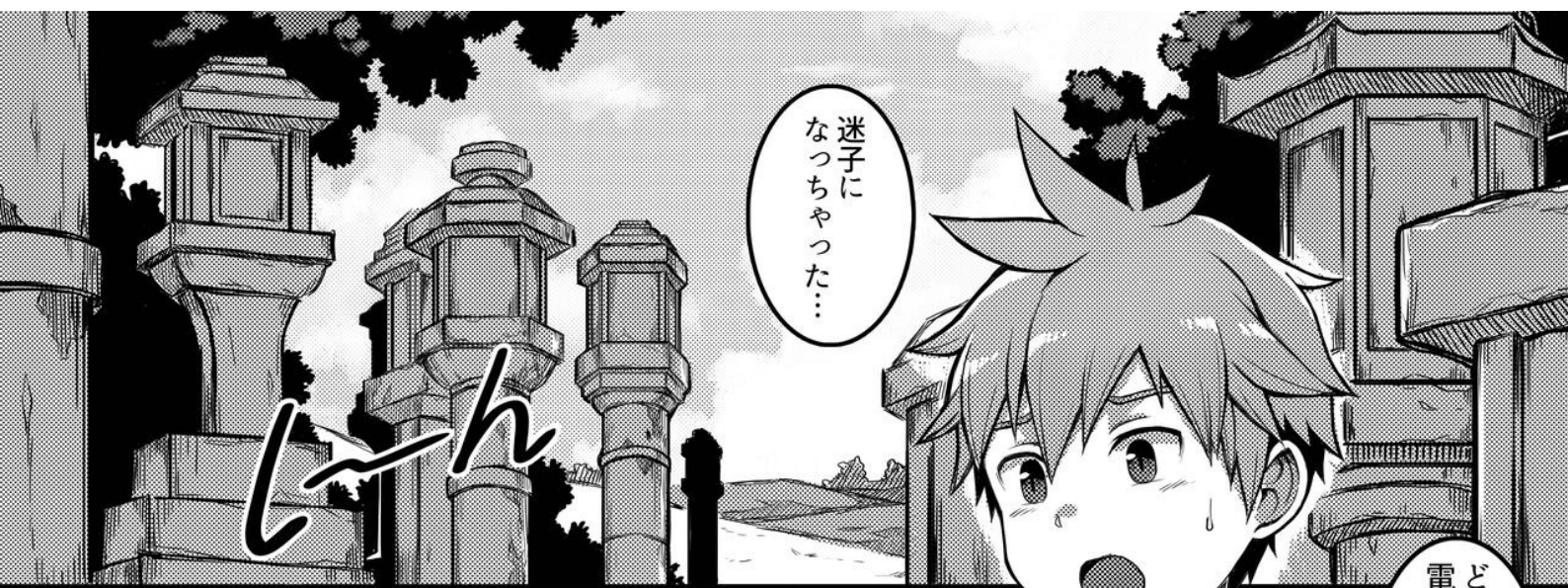
よろしく、鹿君!

NICE TO MEET YOU, DEER-KUN!





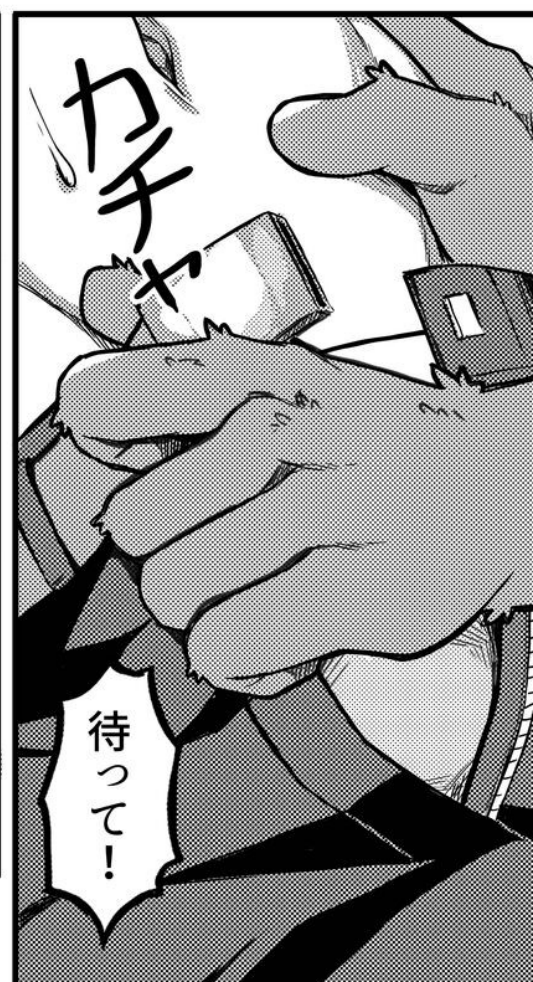








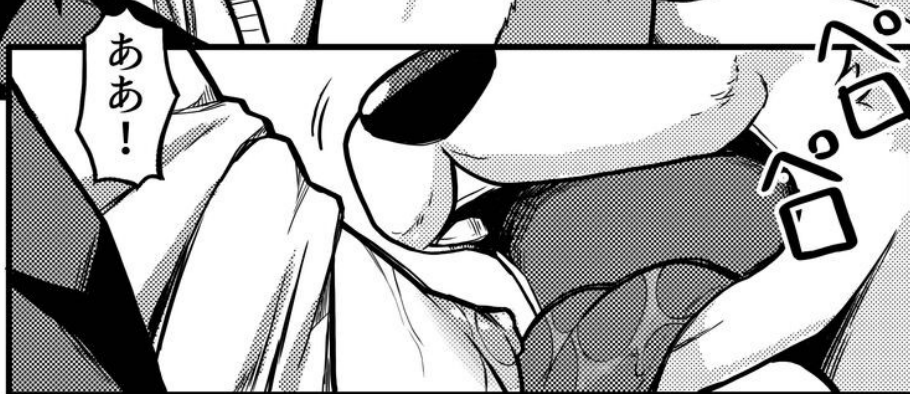


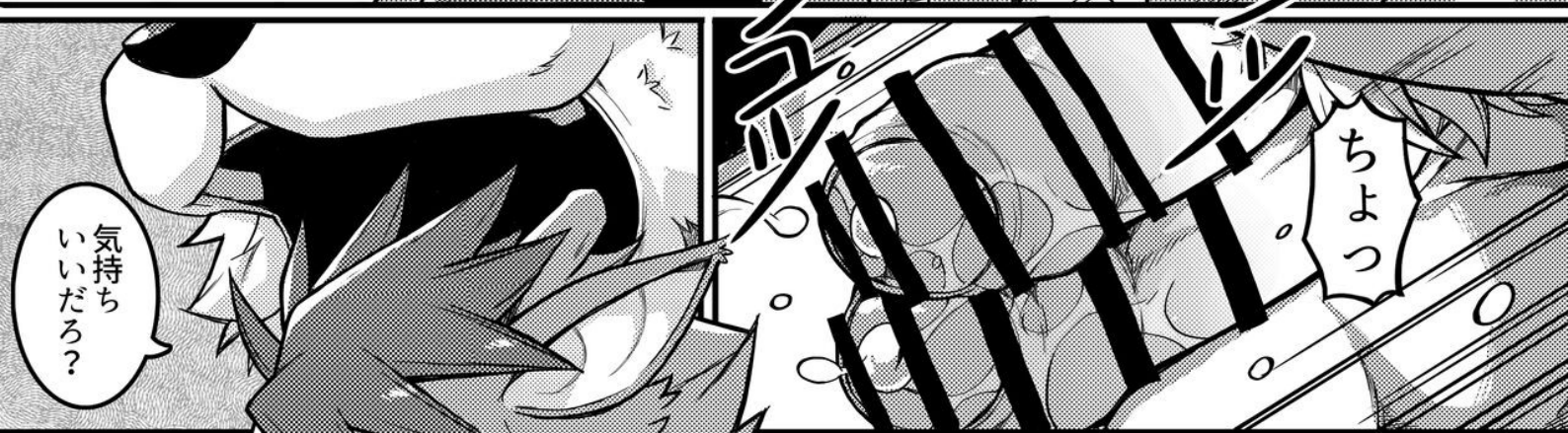
















うあ!

イググ!!

びゅろ

びゅろ

いつ

ク...

ああっ!

先に
イツちやって
ズルいよ

困ったな...

ブチョー



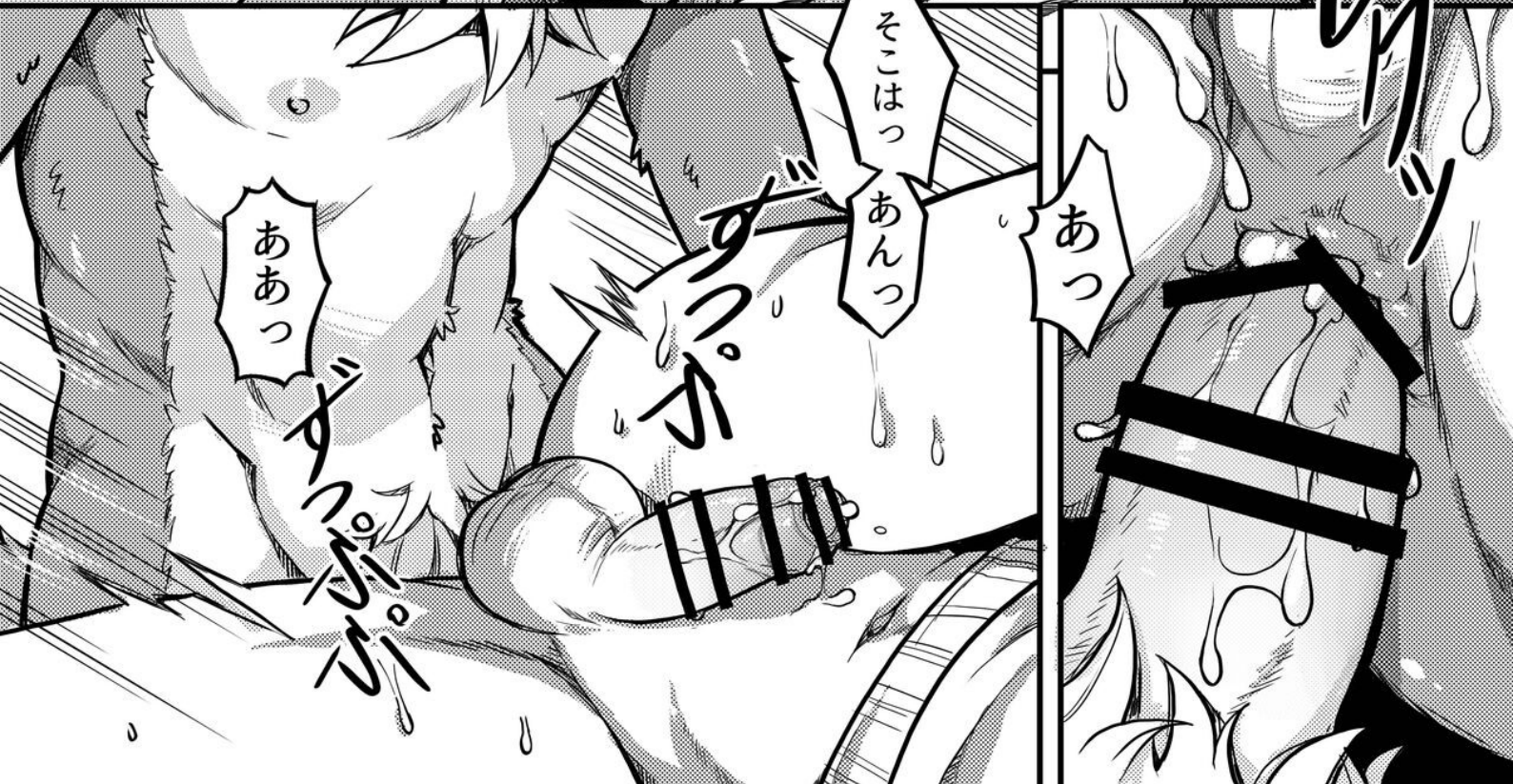


駄目
だつて!

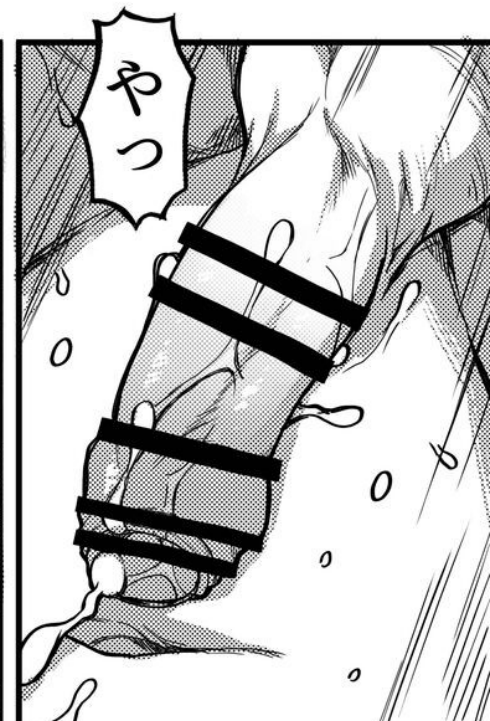
あつ
鹿くん!?



















スマホぐらい
ロックしないと
だめだろ
鹿目くん

おっ
残金余裕あるね
ラッキー

驚くのも
無理ないか

お前に
鹿化の呪いを
押し付けたから

それじゃ…

あばよ

ミッ

ピー

ピーッ

ピー

ピー



呪い…
だって?!

なんとか
頑張りな
鹿目くん

しばらく
その姿なのは
しょうがない
けど

ぼくが
鹿になった…

ぴ

ぴー

こんなの
嫌だ!

誰か…ぼくを
助けて!





DAIKUNG talk

お手にとっていただきまして誠にありがとうございます!エンディングがちょっとトラウマになってごめんなさい。でも遠くない未来に、鹿目くんは無事自分の姿を取り戻すそうなので、皆さん安心してください。ストーリーのきっかけは去年の日本旅行ですね。奈良の鹿たちは噂通りでしたwwその印象でこの本を描きました。機会があったら、是非もう一度行きたいです!

ちなみに、鹿せんべいは草よりうまいと鹿目くんはそう思ったようです。